

バイオマススクフォース (BTF) の活動について (2018 年 3 月 20 日)

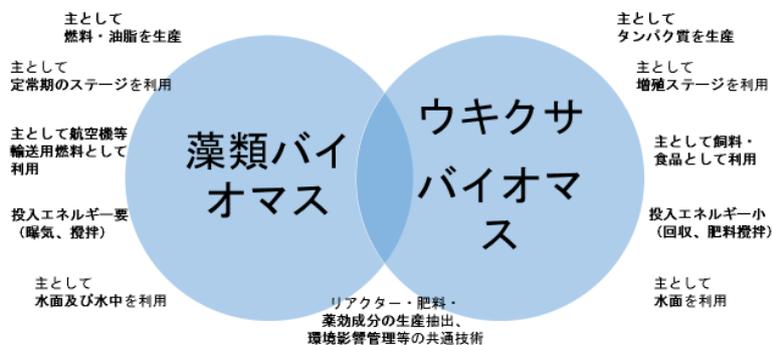
バイオマススクフォース座長 (農研機構) 中村真人

1. 平成 29 年度の活動報告

(当初計画)

- 1) つくば国際戦略総合特区事業の枠組みで実施されている「藻類バイオマスエネルギーの実用化」について、委員及び委員の関係者がそれぞれの得意分野での貢献を継続する。具体的には藻類バイオマスの次なる展開として「陸上淡水系バイオマス戦略」を提案する (下図)。
- 2) さらに今年度着手したアクアポニックスに関しても取り組みを推進する。

陸上淡水系バイオマス戦略のイメージ BT 委員 島田敏



2. 平成 29 年度の活動実績

- 1) 11/9 に飯島アクアポニックスにおいて、現地検討を行った。
- 2) 2/20 にバイオマススクフォース会合 (通算 14 回目) を行い、今年度の活動の総括および来年度の計画について議論した。
- 3) アクアポニックス技術のマニュアル化及びアクアポニックスへのバイオマス技術の新たな活用に向けて、取り組みを進めた。

3. 平成29年度の活動の総括

つくば国際戦略総合特区事業の枠組みで実施されている「藻類バイオマスエネルギーの実用化」については、筑波大学が代表機関を務め研究開発を進めた。

アクアポニックスについては、夏季温度制御システムや夏季透視度向上システムの導入等によりアクアポニックス技術を改善することができた。一方、科学の甲子園ジュニア全国大会等において、アクアポニックスシステムを積極的に広報した。

4. 平成30年度の活動計画 (案)

- 1) つくば国際戦略総合特区事業の枠組みで実施されている「藻類バイオマスエネルギーの実用化」について、委員及び委員の関係者がそれぞれの得意分野での貢献を継続する。
- 2) アクアポニックスに関しては、今年度から継続して取り組みを推進する。